



～とあるお母様から～

我が娘も三十歳をとつくに過ぎています。事故で思いもかけぬ障がい者となりました。何故、どうして？すぐに元に戻ると思い必死でいろんな治療も受け、かなりの回復で現在に至っています。

その頃、世の中は障がい者が健常者と共に生活するという風潮が浅かったです。私自身も、何の知識も持ち合わせていませんでした。

近年、障害者基本法が制定され、又、障害者自立支援法、障がい者総合支援法が出来、障がい者に対する見方が変わってきました。

ガイドヘルプ、日中一時支援等、利用させて頂き、家族が大変な時、大助かりです。又、一時預かりも少人数で、なかなかすぐに利用できなかつたのですが、今は地域生活支援センターが利用出来るようになりました。入所待ちの人もいらっしゃるの、皆さんが入れるようになればいいのですが…。

生活支援事業もいろんな面で活躍されています。障がい者が、地域の人と共に楽しく過ごせる社会が本当に望ましい事です。介護事業は、大変な事が多いと思いますが、より一層の前進を願っています。

前穂通信

まえほつうしん

発行日

2014年5月1日

発行元

自立センター前穂
〒569-1022
高槻市日吉台
1番町21-18
072-689-8600



⚠ 健康にご留意を！

暖かくなって参りましたが、まだまだインフルエンザが流行しているとの情報も入っております。高槻市からは、厚生労働省からの「社会福祉施設及び、介護保険施設等における高病原性鳥インフルエンザ(H5亜型)が疑われる事例の発生について」の情報伝達と共に、報告要請が入っております。

どうか、ご家庭の健康管理については、充分にお気を付け頂き、ご利用前には、今ひとつたびご本人の体調管理にご留意頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。



福井高等学校知的ガイドヘルパー養成講座開催

人材の養成及び、障がい(児)者の社会参加促進の一環として、本年度は4月より大阪府立福井高等学校の福祉課コースの生徒の皆さん40名への移動支援知的養成研修の実施を予定しております。

今回も生徒の皆さんへガイドヘルパーという仕事の楽しさや重要性をお伝えしたいと思います。

